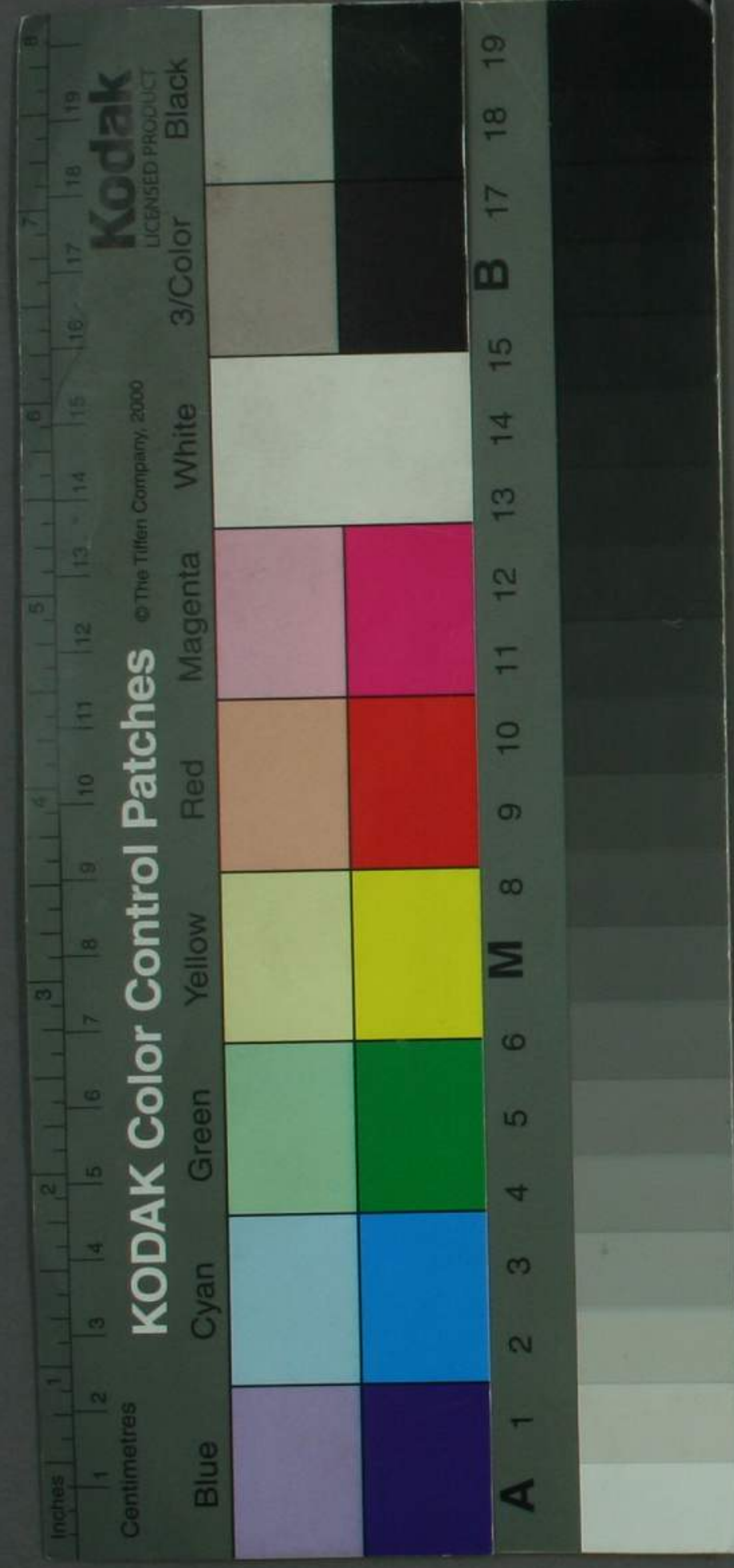




新編鎌倉志

十二

特別
ル4
4202
12

十二



特

門凡
號4202
卷12



新編鎌倉志卷之八目錄

朝夷名切通

附

上總介石塔
梶原太刀洗水

鼻缺地藏

大同村

附阿村

光傳寺

侍從川

油堤

專光寺

六浦

三艘浦

附巖崎



昭和十九年
六月十九日
購求

嶺松寺

上行寺

能仁寺舊跡

金龍院 附引越村 丁金澤四石

圓通寺

瀬戸明神

瀬戸辨才天

瀬戸橋

照天姫松

金澤 附吉田兼好舊跡

洲崎

龍華寺

天然寺

藥王寺

稱名寺 附金澤文庫舊跡 丁御所谷

柴崎村 附權現山 本日

能見堂 附金利谷 丁筆拾松 丁夫婦松

手子明神

野島村 附平方 丁金澤原 丁乙藪浦

善雄寺

大寧寺

室木村

雀村 附浦江

刀切村

烏帽子島

夏島

猿島 附裸島

新編鎌倉志卷之八

河井恒久友水父纂述

松村清之伯胤父考訂

力石忠一叔貫 參補

○朝夷名切通

附上總介石塔
梶原太刀洗水

朝夷名或作切通鎌倉ヨリ六浦へ出ル道ナリ。

大切通小切通トテニツアリ。東鑑三仁治元年十月

一月三十日。鎌倉ト六浦津中間ヲ始テ當道ノ路

トセラルベキノ由評定有テ。今日繩ヲ引同二年四月

月五日。六浦道ヲ造始ラル。前武州泰時其所ニ

監臨せしめ給ふ間、諸人羣集。各土右ヲ運ブ。仍テ
觀者并營せばト云事ナシトアリ。此道ノ事ナルベシ
土俗ノ云、朝夷名三郎義秀。一夜ノ内ニ切拔タリ。
故ニ名クト。未考。此坂道ヲ峠坂ト云。坂ノ下穴浦
ノ方ヲ峠村ト云フ。近比モ淨誓向入ト云道心者。
此道ヲ平ゲ。往還ノ惱ミヲヤムルトナリ。延寶三年
十月十五日死スト。石地藏ニ切付テアリ。鶴岡島
居ノ前ヨリ。コニ至テノ路程。關東道六里ナリ。
上總介石塔 大切通ト小切通トノ間。田中ニアリ。
上總介未考。平廣常カ事歟。廣常ハ高望王九

代孫ニテ。上總介常隆ガ子ナリ。武勇ノ名譽。關
東ニ振リ。坂東ハ平氏。武林ハ介ノ其一人ナリ。
賴朝卿ニ屬シテ。義兵ヲ助ケ。良策戰功多シ。後ニ
諺言ニ因テ。賴朝ニ疑ハレ。壽永二年十二月ニ殺
レタリ。愚管抄ニ。介ハ即廣常ヲ。梶原景時ニテ
討セタリ。景時雙六打テ。サリゲナシニテ。局ヲ越
テ。頓テ頸ヲカイキリテ。モテキタリケルトアリ。
後ニ廣常謀叛ニテアラサル事。文證明白ニテ。賴
朝コレヲ殺シタルヲ後悔シ給ヒタル事。東鑑ニ見
タリ。鎌倉ヨリ切通ノ坂ヘ登ル左方ニ。岩間ヨリ

涌出ル清水アリ。梶原が太刀洗水ト名ク。或ハ平三景時。廣常ヲ討シ時。太刀ヲ洗タル水ト云事歟。是モ鎌倉五名水ノ一ツナリ。或ハ此邊ニ上總介廣常ガ宅アリツルカ。東鑑ニ。賴朝卿。治承四年。十二月十二日。上總介廣常ガ宅ヨリ。大倉ノ新造ノ御亭ニ。御移徙トアリ。此邊ヨリノ事歟。

○鼻缺地藏

鼻缺地藏ハ。海道ノ北ノ岩尾ニ。大ナル地藏ヲ切付テアリ。是ヨリ西ハ相州。東ハ武州ナリ。相武ノ界ニ

(死地界)

アルヲ以テ。界地藏ト名ク。像ノ鼻缺テアリ。故ニ里俗。鼻缺地藏ト云ナリ。北ノ方ヘ行道アリ。釜利谷ヘ出テ。能見堂ヘ登ル路ナリ。

○大同村 附河村

大同村ハ。鼻缺地藏ノ東ノ方。海道ヨリハ南ニ池子村ヘ出ル道アリ。其ノ東ノ方ヲ河村ト云ナリ。

○光傳寺

光傳寺ハ。河村ノ北向ニアリ。常見山ト號ス。淨土宗。光明寺ノ末寺ナリ。開山ハ。得蓮社忍譽靈傳ト云フ。本尊ハ阿彌陀。作者不知。

地藏堂 寺門ヲ入左ニアリ。像ハ運慶作。此地福

山藏光寺ト云フ。地藏ノ二字ヲ分テ號トス。

天神宮 寺ノ後ニアリ。

○侍従川

侍従川ハ光傳寺ノ前ヲ流ル。川ノ下ナリ。俗ニ傳
フ。照天姫カ乳母侍従ト云。女身ヲ投タル川ナリト。

○油堤

油堤ハ六浦橋ノ南。專光寺ノ前ニアル堤ナリ。侍従
照天姫カ粧具ヲ持。此堤ニテ尋來リ。其行方不知。
事ヲカナレシ此所ニ捨置テ身ヲ投タルトナリ。

○專光寺

專光寺ハ光傳寺ノ東ノ方ニアリ。日光山ト號ス。淨
土宗。金澤町屋村天照寺ノ末寺ナリ。本尊觀音。
春日作。是照天姫カ守本尊ナリ。フスベラレシ時。身
代ニ立レト也。三十三年ニ開帳ス。

日光権現社 鎮守ナリ。

○六浦

六浦ハ專光寺ノ東ノ民村ナリ。村ノ西北
ヨリ流出ル川ヲ六浦川ト云。小橋アリ。六浦橋ト云フ。
南方ハ海濱ナリ。東鑑ニ上總五郎兵衛尉忠光ヲ。

新編鎌倉志

(六浦)

武藏國六連ノ海邊ニ於テ梟首スルハ此邊ナ
ラン天鑑倉大草子ニ應永四年正月廿四日小山若
犬丸が子ドモ二人弱年ニテアリシヲ會津ノ三浦左
京大夫是ヲメシトリ鎌倉ヘ進上シケルヲ實檢ノ後
六浦ノ海ニ沈メラルトアリ此海邊歟又鎌倉九代
記ニハ田村庄司則義小山若犬丸ニ與シテ管領
氏滿ニ叛ケルユヘニ鎌倉ヨリ攻ケレバ則義ハ自害ス
其子五歳七歳ニナリシヲ生捕テ六面ノ沖ニ沈ニ
ガケケラレケルト有

三艘浦 附瀨崎

三艘浦ハ六浦ノ南向ヒノ村ナリ昔唐船三艘此
所ニ著ク故ニ名クトナリ其時ニ載来リシトテ一切
經青磁ノ花瓶香爐等稱名寺ニアリ此東ノ村ヲ
瀨崎ト云フ

○嶺松寺

嶺松寺ハ金剛山ト稱ス六浦村ノ北上行寺ノ西
南民家ノ後ニアリ建長龍峯菴ノ末寺ナリ寺僧
云千葉胤義タケノカ寺也開山ハ月窓諱元曉儉約翁
ノ法嗣紀州ノ人也貞治元年十月二日ニ寂ス按ズ
ルニ瀨戸ノ鐘銘ニ神主平胤義トアリ神主ハ平姓

千葉氏ナリ。此人ノ建、立歟。千葉系圖ニモ。胤義ト云有。寺建、立ノ事未詳。

○上行寺

上行寺ハ六浦村ノ北、類ニアリ。六浦山ト號ス。法華宗。中山ノ末寺ナリ。堂ニ釋迦。多寶。法華。題目ヲ安ス。堂ノ前ニ六浦ノ妙法ト云。宗門ニ隱レナキ法師ノ石塔アリ。石塔ニ文和二年六月十三日トアリ。當寺ノ大檀那ナリ。寺僧ノ云。此法師ハ杉田如法トテ。平時賴ノ臣也ト云フ。然レドモ時賴トハ時代異ナリ。始ハ真言宗ナリシガ。日祐ニ歸依シテ當寺ヲ

建、立ス。故ニ日祐ヲ開山トス。身延中山ニモ。此法師ノ像アリ。日祐ハ千葉宗胤ノ孫。胤貞ノ子。下總中山第三祖也ト云。

寺寶

日蓮消息 壹幅

大曼荼羅 壹幅 日祐筆

位牌 壹枚 日祐筆ノ曼荼羅ヲ彫付。其下ニ日祐

一代引導ノ靈。法名俗名ヲ彫。應安三年トアリ。

已上

○能仁寺舊跡

能仁寺ノ舊跡ハ。上行寺ノ東。民家ト成テアリ。上杉
憲方。明月院道合ノ建。立ナリ。古記ニ云。上杉房州
太守。築武州金澤能仁寺。創七宇。伽藍。請方崖
和尚。為開山第一。號山曰福壽。號寺曰能仁。
太守有旨。陞能仁寺位。列諸山者也。永德三年。
小春日。東暉曇昕謹記。又本尊建。立。永德二年。
三月七日。始之。同年四月廿一日。終。住持東暉
曇昕。奉行。德澤檀那巨喜。上總州法眼朝榮。作
之。大檀那房州道合。德珠書之。ナリ。方崖諱元
圭。儉約翁ノ法嗣ナリ。永德三年九月十六日ニ寐ス。今

建長寺龍峯菴二梁牌ノ銘アリ。其文如左。

能仁寺佛殿梁牌銘

恭願皇圖鞏固。而四海昇平。黎庶安寧。而五
穀豐稔。檀那前房州太守菩薩戒弟子道合
敬白。左。伏冀佛運帝運。歷永劫而綿延。寺門
檀門經萬年。以昌盛。皆永德二年壬戌四月
日。開山方崖元圭謹題。右。

○金龍院 附引越村 丁金澤四石

金龍院ハ。海道ノ東南ニアリ。昇天山ト號ス。又ハ飛石
山ト云フ。建長寺ノ末寺ナリ。本尊。虚空藏。開山。方崖



元主此地ノ東北。瀬戸マデヲ引越村ト云フ。
 飛石 寺ノ後山ニアリ。高サ一丈餘。廣サ九尺餘。ア
 リ。三島明神。此石上ニ飛來タリト云傳ス。金澤ノ
 四石ト云フハ飛石。福石。美女石。姥石ナリ。
 ○圓通寺
 圓通寺ハ引越村ノ西ニアリ。日輪山ト號ス。法相宗。南
 都法隆寺ノ末寺ナリ。開山法印法慧。寺領三十二
 石。久々太和守源。廣之付スルナリ。
 東照權現社 山ノ上ニアリ。御代官柳木次郎
 右衛門勘請シ奉トナリ。

○瀬戸明神

瀬戸或作迫門明神。八海道ノ北ニアリ。島居ニ額アリ。正一位大山積神宮ト二行ニ書ス。裏書ニ延慶四年辛亥四月廿六日。戊辰沙弥寂尹トアリ。今社領百石。御朱印アリ。神主代々千葉氏也。門ノ左右ニ看督カクドク長ノ像アリ。安阿弥ヤスアミ作ト云フ。社司云。當社ハ賴朝卿。治承四年四月八日ニ豆州三島ノ明神ヲ勧請シ給フト。按スルニ賴朝鎌倉ニ入給フ事ハ治承四年十月六日上東鑑ニアリ。其前四月八日豆州北條ノ館ニヲハシマス。配所時ナ

リ。當社勸請ノ事不審。鎌倉年中行事ニハ四月八日。瀬戸三島大明神臨時ノ祭禮トアリ。或云。往古此神此地へ飛來給。今ノ金龍院ノ飛石上ニ止トナリ。

寶物

陵王面リョウオウオモ壹枚

拔頭面ハキカウオモ壹枚。共ニ妙作ナリ。

已上

鐘樓 社ノ東方ニアリ。鐘銘如左。

瀬戸三島社鐘銘

洪鐘新製。寄器海嘯。靈神振德。衆人結縁。韻
微。遠近。鎔體黃玄。緇素益大。村里聽。鮮開靜
動。聞奏敬悲。田驟化。俗頻敲。夜禪覺。煩惑
夢。驚生死。眠昏曉。清響劫。永傳大戒。菩提
薩埵。僧普川筆。應安七年。四月十五日。奉鑄
之。神主平。胤義。檀那。妙弥釋阿。并十方四衆
等。勸進。聖義道。大工。大和權。守國盛。晉川八寶
戒寺二

代目

蛇混柏

社ノ側ニアリ。枝葉長大ニシテ、龍蛇ノ
起伏スルカ如シ。金澤ニハ木アリ。其一ツナリ。延

寶八年。八月六日ノ大風ニ吹倒サレタリ。梅花

無盡藏。萬里居士カ詩アリ。

瀬戸社

自註云、六浦、廟
前有古柏、風蟠

萬里

遺廟柏園。六浦橋。朗吟繫馬。石支腰。歸鴉飛。

破翠屏。面。剩被風聲。添晚潮。

三本杉

蛇混柏ノ南ニアリ。大木ニテ。根株相

連。三本并生ス。奇シキ形ナリ。放下僧。離ヲ復

シタル所ナリ。謠ニモ、瀬戸ノ三島トウタフハ此

所ナリ。此三本ノ杉モ、延寶庚申ノ風ニ吹倒ス。

藥師堂 社ノ東ニアリ。

○瀬戸辨才天

瀬戸辨才天。瀬戸明神ノ前ノ海中へ築出シタル島ナリ。頼朝ノ御臺所平政子江州竹生島ヲ勸請セラレシトナリ。甚々多景ノ島ナリ。東鑑ニハ不見。

寶物

寶珠石 三顆金襴ノ袋ニ入。社内ニ納ム。

已上

福石 辨才天へ行橋ノ東ノ下ニアリ。金澤四石ノ一ツナリ。

○瀬戸橋

瀬戸橋ハ明神ノ前ヲ東ノ方へ行バ洲崎ノ瀬戸トノ間ニカケタル橋ナリ。中間ニ土臺ヲ築キ兩方ニ橋ヲカケリ。船其下ヲ通ル様ニシテ。橋枕ヲセス。能見堂ヨリミユルナリ。

○照天姫松

照天姫松ハ瀬戸橋ノ北ニ當テ。西ノ岸ヨリ出崎ニ一株ノ松アリ。里人云。照天姫ヲフスベシ時ノ松木ノ跡。故ニ姥ガ焼サシノ松トモ云。延寶庚申ノ大風ニ吹折テ。根株ノミ存ス。照天姫并小栗ガ事。

俗ノ云傳フル説タシカナラズ。令按スルニ。鎌倉大
草子ニ。應永卅年癸卯春ノ比ヨリ。常陸國住人
小栗孫五郎平満重ト云フ者有テ。謀反ヲ起シ。
鎌倉ノ御下知ヲ背キケル間。源持氏御退治ト
シテ御動座ナサル。結城ノ城ニテ御出。同八月二
日ヨリ。小栗ノ城ヲセメラル。小栗兼テヨリ。軍兵
數多城ヨリ外へ出シ。防戦ケレ共。鎌倉勢ハ一色
左近將監木戸内匠助。先手ノ大將トシテ。吉見
伊與守上杉四郎。荒手ニカハリテ。兩方ヨリ攻入
ケレバ。終ニ城ヲ攻落サレ。小栗ハ行方不知落

行ケリ。後ニ忍デ三州へ落行ケリ。其子小次郎ハ。
ヒツカニ忍テ關東ニ有ケルガ。相州権現堂ト云所
へ行ケルヲ。其邊ノ強盜共集リケル所ニ宿ヲカ
リケレバ。主ノ申ハ。此浪人ハ。常州有徳仁ノ福者
ノヨシ聞定テ隨身ノ寶有ベシ。打殺シテ可取。由
談合ス。去ナガラ。伴ナル家人共。イカバセント云
フ。一人ノ盜賊ノ申ハ。酒ニ毒ヲ入吞セ殺セト云フ。
尤ト同じ宿ノ遊女共ヲ集メ。今様ナドヲダハセ。
躍リ戯フレ。彼小栗ヲ。馳走ノ體ニモテナシ酒ヲ
ス、メケル。其夜酌ニ立ケル照姫ト云フ遊女。此間

小栗ニ逢ナレ。此有様ヲスコシ知ケルニヤ。自ラモ此酒ヲ不_マ吞_ノシテ有ケルカ。小栗ヲ哀_ミ此由ヲサハヤキケル間。小栗モ吞_ム様ニモテナシ。酒ヲ更ニノマザリケリ。家人共ハ是ヲ不知。何レモ醉_チ伏_ビテゲリ。小栗ハカリヲメニ出ル體ニテ。林ノ杵間ヘ出テ見ケレバ。林ノ内ニ鹿毛ナル馬ヲツナギテ置ケリ。此馬ハ盜共海道中へ出。大名往來ノ馬ヲ盜ミ來リケレ共。第一ノアラ馬ニテ。人ヲモクヒフミケレバ。盜共不_ズ叶_ハシテ。林ノ内ニツナギ置ケリ。小栗是ヲ見テヒソカニ立_タ歸_リ。財寶少_ク取_リ持_テ。彼馬ニ乘_リ鞭ヲ進メ落

行ケリ。小栗ハ無雙ノ馬乘ニテ。片時ノ間ニ藤澤道場へ馳_ヒ行。上人ヲ頼ミケレバ。上人哀_ミ時_ニ衆_ニ人付_テ三州へ送_ラル。彼毒酒ヲ吞_ムケル家人并_ニ遊女。少_ク醉_チ伏_ビケルヲ。河水へ流シ沈_メ。財寶ヲモ尋_リ取_リ。小栗ヲモ尋_リケレ共無_リケリ。盜人共ハ其夜ニ分散ス。酌_シニ立ケル遊女ハ醉_チケル體ニモテナシ伏ケレドモ。元ヨリ酒ヲノマザリケレバ。水ニナガレ行_キ河_ノ下ヨリ匍_ヒ上_リ助_リケリ。其後永享ノ比。小栗三州ヨリ來_テ。彼遊女ヲ尋出_シ。種_々ノ寶ヲ英へ盜_リ共ヲ尋_リ。皆誅_シ伐_シケリ。其子孫ハ三州ニ代_リ

居住ストイヘリトアリ。今爰ニ云傳タル照天姫ハ。天草子ニ所謂照姫カ事カ。小栗カ名ヲ。世俗ニハ兼氏ト云。天草子ニハ名ヲ不記。小次郎トバカリアリ。小栗系圖ヲ考ルニ。孫五郎平満重。其子助重ト云者アリ。助重ハ則小次郎歟。

○金澤 附吉田兼好舊跡

金澤ハ武藏國六浦莊ノ内ヤリ。兼好カ家集ニ武藏國金澤ト云。所ニ昔シ住シ家ニテ月ヲ見テヨメルト云歌アリ。然ラバ兼好。遁世ノ後暫ク此所ニ居タルトミヘタリ。今其舊跡サダカニシレル人ナシ。又後

然草ニ甲香。此浦ヨリ出ツ。所ノ者ハヘナダリト云ト書リ。野槌ニ。今金澤ニテ尋ヌレバ。バイト云。又ツフトモ云フトアリ。又昔唐船ノツキタル時。唐猫ヲ載來。故ニ今ニ金澤ノ唐猫トテ名物ナリ。此事梅花無畫藏ニモ見ヘタリ。

○洲崎

洲崎ハ瀬戸橋ノ東ノ漁村ナリ。太平記又ハ鎌倉年中行事等ノ書ニ洲崎ト有ハ。山内ノ西ニアリ。此ニハ非ス。

○龍華寺

龍華寺ハ知足山ト號ス。洲崎村ト町屋村トノ
間ニアリ。真言宗。仁和寺ノ末寺ニテ檀林ナリ。門
二八知足山。堂二八龍華寺ト額アリ。開山ハ法印融
辨也。本尊大日也。弥勒像モアリ。脇寮四个。院其
外近邊二末寺二十个寺アリ。寺領五石ノ御朱
印アリ。當寺ノ畧記ニ明應年中ニ金澤ニ成願寺
光德寺ト云テ二箇ノ真言寺アツテ敗亡シタル
ヲ融辨二寺ヲ合テ一寺ト成トアリ。或云太田道
灌修複セラル。故ニ道灌ノ位牌アリ。表ニ春苑道
灌菴主。靈裏ニ文明十八丙午七月二十六日
トアリ。

寺寶

兩界曼荼羅 貳幅 唐畫

涅槃像 壹幅 唐畫

十三佛繡像 壹幅 中將姫製ト云フ

八祖畫像 壹幅 弘法筆。或云願行筆ト云フ

不動畫像 壹幅 弘法筆也。表背ノ裏書ニ太田

道灌寄進ト有。寺僧云東照宮御覽アリテ修
複シ給フ。其時十三佛ノ繡像モ修複シ給フ
ト也。

愛染明王木像 壹軀弘法五指量ノ作ト云一

握ノ長ナリ

鳳凰頭 貳个運慶作

龍頭 十個運慶作此二種トモニ木ニテ作金箔

ヲ貼タル物ナリ灌頂ノ時幡ヲ掛具也

鈴 壹个弘法所持ト云傳フ

已上

鐘樓 鐘銘如左

大日本國武州六浦莊金澤郷知足山龍華寺。菩提勝慧者。乃至盡生死。恒作衆生利而

不趣涅槃般若及方便智度悉加持護法及諸有。一切皆清淨。欲等調心間令得淨除。故有頂及惡趣。調伏盡諸有如蓮體本不染。不有垢所染。諸欲性亦然。不染利羣生大慾得清淨。大安樂富饒。三界得自在。能作堅固利天文十二年辛丑五月五日。當寺住持法印權大僧都善融檀那。古尾谷中務少輔平重長法名道傳。

○天然寺

天然寺ハ法爾山ト號ス。町屋村ノ海道ノ西ニアリ。

淨土宗。光明寺ノ末寺ナリ。開山ハ。然譽禪芳。永
祿二年二月二十六日寂。七十九歳。本尊阿弥
陀。作者不知。

寺寶

出山釋迦畫像 壹幅筆者不知

不動畫像 壹幅弘法筆。

觀音畫像 壹幅慧心筆。

文殊畫像 壹幅筆者不知。

阿弥陀像 壹軀慧心ノ作。堅田千體ノ一也。

嵯峨光阿弥陀像 壹軀

辨才天像 壹軀

已上

藥王寺

藥王寺ハ町屋村ノ東ニアリ。三愈山ト號ス。龍華

寺ノ末寺ナリ。堂ニ藥師十二神像行基。蒲御曹

司範賴ノ牌有。表ニ太寧寺道悟裏ニ天文九年

庚子六月十三日トアリ。後ノ太寧寺ノ條下ニ詳

ナリ。



稱名寺圖

以石為前

新編錄食志

卷之六

西



稱名寺

附金澤文庫舊跡
金澤八木
御所谷

稱名寺ハ金澤山ト號ス。真言律ニテ。南都西大寺。末寺ナリ。龜山帝ノ勅願所ニテ。北條越後守平實時^{サキトキ}本願主。其子顯時^{アキトキ}ノ建立也。實時^{サキトキ}ヲ稱名寺ト號シ。法名正慧ト云フ。金澤ニ居住ス。顯時ヨリ金澤ヲ家號トス。顯時^{アキトキ}ノ法名慧日ト云フ。正安三年三月廿八日ニ卒ス。牌アリ。開山ハ審海和尚。寺領百石。御朱印アリ。門ニ運慶^カ作ノ二王アリ。鶴岡鳥居ノ前ヨリ。此寺マテ關東道十三里アリ。

本堂 本尊ハ彌勒。運慶^カ作。

寺寶

十六羅漢畫像 十六幅。禪月大師筆。

阿囉波左曩五字文殊畫像 壹幅。弘法筆。

信解品 壹卷。弘法筆。

瑜伽論 壹卷。菅丞相筆。荏柄條下ニ詳ナリ。

請雨經 壹卷。菅丞相筆。

受漆金銅像 壹軀。天照太神作。龜山帝守^{ミモリ}本

尊ト云傳フ。寺僧云ク。天照太神ノ作ト云ハ。吉備丸^{ヒノ}ノ作ナリトゾ。

三尊弥勒木像 壹龕慧心作長三寸五分。

不動木像 壹軀弘法一刀三禮作長二寸五分。

弥勒泥塑像 壹軀弘法作長三寸坐像。

釋迦像 壹軀興正菩薩作。

佛舍利 八祖相承ノ舍利トテ祖師ヨリ代々相傳弘法ニ至テ大和ノ室生山ニ納置シテ龜山

帝ノ勅ニ因テ此寺ニ納ル也昔ハ勅封有トナリ。

牛玉 壹顆。

鹿玉 壹顆。

青磁花瓶 四个唐物。

青磁香爐 壹个唐物。

楊貴妃珠簾 壹連初ハ尾州熱田ノ寶物ナリシ

ヲ龜山帝ノ勅ニ因テ此ニ納ムト云フビイドロノ細

キ竿ヲ色絲ヲ以テアミタ九物ナリ。

已上

弥勒堂 本堂ノ西ニ有一切經ヲ納ム。

鐘樓

大日本國武州六浦莊称名寺鐘銘

降伏魔力怨除結盡無餘露地擊槌槌菩薩

聞當集諸欲聞法人度流生死海聞此妙響

音盡當雲集此諸行無常是生滅法生滅滅已寂滅為樂一切眾生悉有佛性如來常住無有變易一聽鐘聲當願眾生斷三界苦煩證菩提文永已已仲冬七日奉為先考先妣結緣人等同成正覺鑄之大檀那越後守平朝臣實時

改鑄鐘銘并序

宋沙彌圓種述宋小比丘慈洪書

此鐘成乎文永虧乎正應寺而不可無鐘矣因勵微力并募士女更捨赤金重營青鑄者也伏乞先考超越三有同德於寶應聲道遙

十地並位於光音暨乎四生九類共于一種餘響銘曰洪鐘之起其始渺焉載于周典稱于竺篇質備九乳形象圓天聲一觸處聞聞入玄三界五趣八定四禪醒長夜夢驚無明眠之朝之夕無愚無賢凡厥聽者同見金仙正安辛丑仲秋九日大檀那入道正五位下行前越後守平朝臣顯時法名慧日當寺住持沙門審海行事比丘源阿大工大和權守物部國光山城權守同依光青葉楓堂ノ前東ノ方ニアリ金澤ノ八木ト云テ青

葉ノ楓西湖梅、黒梅、櫻梅、文殊櫻、普賢象櫻、
 蛇混柏、雀浦一松トテアリ。五木ハ此處ニアリ。
 蛇混柏ハ瀬戸明神ニアリ。雀浦ノ一松ハ其所
 ニアリ。黒梅ハ絶テナシ。其跡ハ爰ニアリ。或人ノ云、室
 木山ニ管根権現ノ小社アリ。神木トテ大樟ノ
 大木アリ。八木ノ一也。云傳ト。寔慧法師ガ紀
 行ニ昔藤原為相卿如何ニシテ此一本ノレグレ
 ケシ山ニサキダツ庭ノモミチ葉ト侍レヨリ後ハ
 此木青葉ニテ。玄冬ニテ侍ルヨシ聞ユル楓樹ク
 千ノコリテ。佛殿ノ軒ニ侍リ。歌ニ先立バ本ノ一

本モノコラジト。カタミノ時雨青葉ニゾ降トアリ。
 謠ニモ作レリ。

西湖梅 堂ノ前東ノ方、池邊櫻梅ノ南ニアリ。ハ
 重ノ花ナリ。色白シ。萬里居士詩アリ。

西湖梅 萬里

前朝金澤古招提。遊十年邊。雖迷臍梅有西
 湖指枝拜。未開遺恨翠禽啼。自註云。西湖梅
 船。移栽杭州西湖之梅。名之。以未開為遺恨。矣。

櫻梅 八重ナリ。堂ノ前東方。西湖梅ノ北ニアリ。
 文殊櫻 堂ノ前東ノ方ニアリ。或云。昔ノ櫻ハ枯テ。

今アルハ新木ナリト云フ。

普賢象櫻

千葉ナリ。花ノ心ヨリ一葉出ヅ。堂ノ前

西ノ方ニアリ。園太暦ニ延文二年二月十九日

ニ。南庭ニ櫻樹ヲ渡シ哉。殊絶ノ美花也。號録

倉櫻トアリ。蓋ニ称名寺ニ所在ノ櫻樹カ。昔永

福寺ニモ名花有ト三ヘタリ。東鑑ニ往々永福

寺櫻花見ノ事アリ。

美女石并姥石

堂ノ前ノ蓮池ノ中。西ノ岸ノ方

ニアリ。共ニ金澤四石ノ内ナリ。

金澤文庫舊跡

阿弥陀院ノ後ノ切通。其前ノ

少輔入道建芳カ被官ニ。上田藏人入道ト云者。
武藏國神奈川ヘ出張テ。権現山ヲ城ニ構ヘ。上杉
ニ背クトアルハ此所ナラン歟。前ニ所謂小栗孫次郎
カ。盜賊ニ逢シ。所モ此所ナラン。権現堂トモ云也。此
村ノ東ノ出崎ヲ本目ト云フ。

(月本)

能見堂所見圖



御所谷

阿弥陀院ノ後ノ切通ヲ出ル島ヲ云ナ

リ。里俗ノ云。龜山帝ノ御所ノ跡ナリト。切通ハ

龜山帝御參詣ノ道也ト云フ。今按ズルニ。龜山

帝。金澤ニ御幸ノ事。舊記等ニ於テ未考。殊。地

佳。境へ遊歴ノ事ハアリ。

顯時石塔

阿弥陀院ノ後ニアリ。顯時ハ平實時

ノ子ナリ。前ニ詳ナリ。

貞顯石塔

同所ニアリ。貞顯ハ顯時ノ子ナリ。

藥師堂

門外ノ東ニアリ。

海岸寺

門外東ノ方ニアリ。鎌倉年中行事ニ。海

岸寺アリ。昔ハ尼寺ニテ上杉持朝女理等。此寺ニ居ス。今ハ稱名寺ノ内ニ屬ス。

光明院 總門ヲ入左ニアリ。

大寶院 光明院ノ向フナリ。

一室 本堂ノ東ノ方ニアリ。

阿弥陀院 本堂ヨリ西ノ方ナリ。

八幡社 蓮池ノ西ニアリ。

○柴崎村 附權現山 下本目

柴崎村ハ稱名寺ノ東ノ出崎ノ方ニアリ。此村南ニ權現山ト云フ所アリ。北条盛衰記ニ。上杉治部

(山現權)

畠文庫ノ跡ナリ。昔北條越後守平顯時。此所ニ文庫ヲ建テ。和漢ノ羣書ヲ納メ。儒書ニハ墨印佛書ニハ朱印ヲ押ス。印文ハ楷字ニテ。金澤文庫ノ四字ヲ堅ニ書ス。後ニ上杉安房守憲實執事ノ時。再興ス。鎌倉大草子ニ。武州金澤ノ學校ハ。北條九代ノ繁昌ノ昔。學問アリシ舊跡也。上州足利ノ學校ハ。永和六年ニ。小野篁上野ノ國司タリシ時ノ建。立ナリ。今度安房守憲實足利ハ。公方御名字ノ地ナレバ。學領ヲ附シ。諸書ヲ納メ。學徒ヲ憐愍ス。サレバ此。比諸國大ニ

亂レテ。學道モ絶タリシカバ。此金澤ノ文庫ヲ再
興シ。日本一ノ學校トナル。西國北國ヨリモ。學
徒多ク集ルトアリ。管領源成氏ノ時ナリ。其後
ハ頽破シテ書籍皆散失ス。一切經ノ切残タル
弥勒堂ニアリ。

觀金澤藏書而作 義堂

玉帳修文講武餘。遣人來覓舊藏書。牙藏映
日。窺蝌斗。縹帙乘晴。走蠹魚。圯上一編看。不
足。鄴侯三萬欲何如。照心古教。君家有。收在
胸中。歷五車。

○能見堂

附金利谷 筆檢松 夫婦松

能見堂ハ称名寺ノ西北ノ山上ニアリ。里俗ハノツケ
ン堂ト云。昔シ。畫工巨勢金岡。此所ノ美景ヲ寫シ
シテ。アキレテ。ノツケニソリタル故ニ。ノツケン堂ト云
ナリ。或云。風光ノ美。此所ヨリ不殘。能見ユル故ニ。能
見堂ト云。又云。昔ハ堂ナシ。此地ヨリ望ハ。瀬戸ノ海。道
能見ユル故ニ。能見道ト云。又梅花無盡藏。三ハ濃見堂ト
カケリ。今ノ堂ハ。頃年。久世大和守源廣之。建立ナリ。
此西ノ塩燒濱ヲ。金利谷ト云。能見堂ノ西ノ方ヨリ。新
町ノ宿へ出ル道アリ。此地東南ハ海水ニテ。眺望窮ナシ。

富士山上總下總房州諸峯不殘見云天下ノ絶景ナリ。里民相傳ヘテ西湖ノ八景有ト云洲崎ノ民家連リタル所ヲ山市晴嵐ト云町屋村ノ東平方ノ西塩焼濱ヲ平砂落鴈ト云野島ノ南へ出タル所ヲ漁村夕照ト云或云瀬戸ノ浦邊ヲモ云室木ノ西瀬崎村ノ前ノ海上ヲ江天暮雪ト云野島ノ南刀切村ノ北ニ船見ユルヲ遠浦歸帆ト云谷利谷村ノ内手子ノ明神ノ北塩屋ノアル邊ヲ瀟湘夜雨ト云ナリ其所ニ瀟湘夜雨松ト云松アリ。称名寺ノ東ノ出崎柴崎村ノ南ノ邊ヲ洞庭秋月ト云ナリ。称名寺ノ鐘ヲ煙

寺晚鐘ト云フ。八景總テ能見堂ヨリ云ナリ。鶴岡島居ノ前ヨリ能見堂ニテ關東路十四里アリ。

筆捨松

堂ノ前ニアリ。金岡金澤多景ヲ感シテ此

松ノ下ニテ筆ヲ捨シト也。故ニ名ク萬里居士詩

アリ。梅花無盡藏ニ云出金澤七八里許攀最

高頂則山々水々面々之佳致昔畫師金岡

絶倒擲筆之處有名無基但其名不甚佳相

傳曰爛見堂也。又云畫師擲筆之峯

登々匍匐路攀高景集大成忘却勞秀水奇

山雲不裏畫師絶倒擲秋毫

夫婦松 筆捨松ヨリ東方ニ二本アル松ナリ。

○手子明神

手子明神ハ金利谷村ノ内瀬戸ノ北ニアリ。此所三方ハ山。東ハ瀬戸橋ヨリ入海ナリ。明神ノ北ニ瀟湘夜雨松ト云アリ。此所ヨリ鼻缺地藏へ出ル道アリ。

○野島村

附平方 金澤原 乙 瀬浦

野島村ハ瀬戸橋ノ東ノ出崎ナリ。里民ノ云。此處民屋百軒アリ。外ニ一軒モ家ヲ造レバ。必災有テ。又元ノ如ク百軒ノ數トナル。依之百軒島トモ云也。此所ノ出崎ニ紀州大納言頼宣卿。塩風呂ノ舊地有。

(名澤金)

山ノ出崎ニ稻荷ノ宮アリ。山ノ中段ニ天神ノ宮アリ。野島ノ少シ北ヲ平方ト云フ。平方ノ西町屋村ノ東ヲ金澤原ト云。野島ノ東濱ヲ乙瀬浦ト云フ。

○善雄寺

善雄寺ハ野島村ノ内ニアリ。野島山ト號ス。真言宗。龍華寺ノ末寺ナリ。本尊ハ不動。觀音。聖德太子。作。愛染。弘法。作。長五寸。腹内ニ愛染。小像千體作リ。コムト云フ。寺ノ側ニ井アリ。清冷ナリ。

大寧寺圖



大寧寺

大寧寺ハ瀬崎村ノ南ニアリ。海藏山ト號ス。蒲御曹
 司源範賴菩提寺也。開山ハ千光國師。今建長寺
 ノ末寺ナリ。本尊藥師十二神。是ヲヘソ藥師ト云
 フ。勸進帳ノ畧ニ云。昔シ伏見帝。永仁年中ニ。此村ニ
 貧女アリ。父母ノ忌日ニアタレドモ。貧シテ佛ニ供養
 スベキ様ナシ。絲ヲクリ。ヘソトシテ。コレヲ賣テ。父母忌
 日ノ佛餉ニ備ヘント思フ。然レドモタヤスク買人ナシ。
 或時童子一人來テコレヲ買フ。其價ヲ以テ父母忌
 日ノ供養ヲ勤ム。不思議ノ思ヒヲナシ。所ニ。此藥師

新編鎌倉志

佛ノ前ニ其ヘソ多クアリ。始テ知ヌ如來貧女純孝ノ志ヲ感ジテシカルコトヲ。自余以來ヘリ藥師ト云フトアリ。鶴岡ノ島居前ヨリ。此寺テ關東路十里アリ。

題太寧寺 六言

絶海

寺樓一抹晚江煙。潮送鐘聲落釣船。老矣身心棲事外。閒鷗容我社中眠。
殘曉香消柏子煙。老來無夢趁漁船。聞君去借江村宿。一夜鷗邊看月眠。
六浦遙連三浦煙。颼風隨岸吹移船。興來撐

棹竄佳處。月落前灣猶未眠。

山銜夕日水籠煙。雪後蘆花月滿船。蓋世功名身外事。幾人能得一菴眠。

衲衣懶惹御爐煙。還愛華亭載月船。晚興遲留江上寺。三山翠映白頭眠。

功名盡處畫凌煙。失墜危樵灩澦顛。船一錫歸來楓外寺。白沙翠竹閉門眠。

寺寶

蒲御曹司源範賴畫像 壹幅

同自筆和歌 壹幅

已上

源、範賴、石塔。堂ノ後ニアリ。又堂ニ位、牌アリ。表ニ
太寧寺道悟トアリ。裏ニ天文九年庚午六月
十三日トアリ。寺僧云。相傳フ此ハ蒲御曹司源
範賴ノ位、牌也ト。此寺中絶シテ。藥王寺ヨリカ
ケモ千ニセシ時。藥王寺ノ住持。裏ニ年號月日ヲ
如、此書付タリト云。藥王寺ニモ此位、牌ノ寫シ
アリ。異本盛衰記ニ。範賴ハ伊豆修善寺ニ御座ケ
ルヲ。景時又賴朝ニ申テ。伊豆ニ越。景時父子三
人。五百餘騎ニテ。修善寺ニ押寄ス。範賴ハアル

坊ニ小袖ニ大口計ニテ御座ケルガ。差詰引詰散
ニ射給ケル。寄手多ク射殺サル。其後矢種盡
ケレバ。坊ニ火ヲカケ。自害シテコソ失セラレケル。其
後景時煙ヲ静メ。範賴ノ焼首取テ鎌倉ニ持テ
行。賴朝ニ見セ奉ルト有。其首ヲ此地ニ葬リタル
歟未詳。

○室木村

室木村ハ。瀬崎ノ東也。此民家ノ間ニ。犬樟大木アリ。
或云。八木ノ一ツナリト。山上ニ宮根権現社アリ。

○雀浦

附浦江

新編鎌倉志 卷之八
雀浦スミカウラハ室木村ムキキムラノ南ノ出崎ヲ云フ。天神ノ小祠アリ。故ニ天神崎カサキトモ云フ。此地ノ入江ヲ浦江ウラエト云フ。古老云。昔シ此地ニ松一株アリ。ハ木ノ一ツナリト。今ハ枯テナシ。此外丈人ヤサキ、柳ヤナギ、猿サル、這ノ松マツナド云有シガ。皆枯タリト。

○刀切村

刀切村タギキムラハ天神崎ノ南向ニ。浦江ノ東ニアリ。南ノ入海ヲ榎戸エノト湊ト云フ。

○烏帽子島

烏帽子島カサネジマハ刀切村ノ東ノ出崎ノ小島ヲ云フ。

○夏島

夏島ナツシマハ烏帽子島ノ東ニアリ。長サ三町餘。横一町餘アル小島ナリ。

○猿島 附裸島

猿島サルシマハ夏島ノ東南ニアリ。五町四方バカリアリ。其前二三町餘離レテ。裸島ト云フ小島アリ。

新編鎌倉志卷之八

大尾

題新編鎌倉志後

夫鎌倉之為地也固

本邦之一都會自夫豫州創鶴岡與

州宅龜谷而遂為源氏喬木降迄

右將開府于斯瑞泉建鎮于斯奕

世相承逖矣邈矣以故治亂興亡

之迹紛紛其不可搏束鑑太平記
等書記者不少可以際見而讀焉
者每患其地理不明而事狀難推
今是編也乃指示方所區別疆域
切若手畫而足履且其隱者顯之
微者著之闕者補之謬者正之固

已盡矣而不特止此以至寺觀之
什物與夫題詠之篇章凡羣書莫
所見者亦盡探討罔遺蒐輯弗洩
一閱之則一時形勢往古繁華瞭
然觀之行間宴替古之一助也僕
聞之已熟渴思霓望願欲通行諸

方以資好事_中懇請數四始得此本_{タリ}
遂錄之_テ梓以廣其傳_{スト}云

貞享二年歲次乙丑八月吉旦

洛下書林

柳枝軒茨木方淑識



木版

